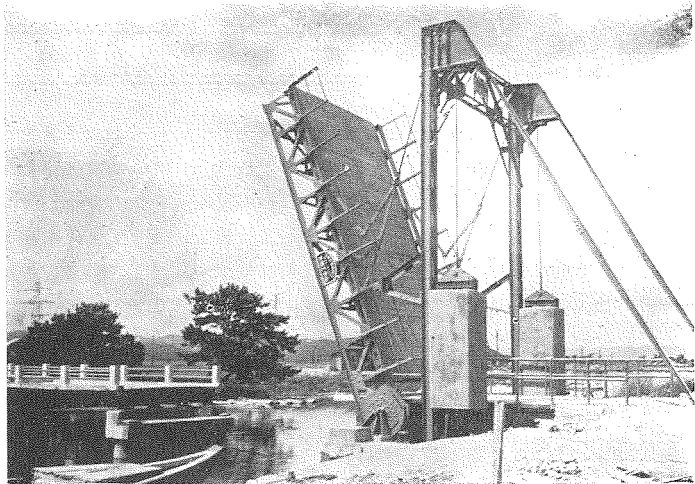
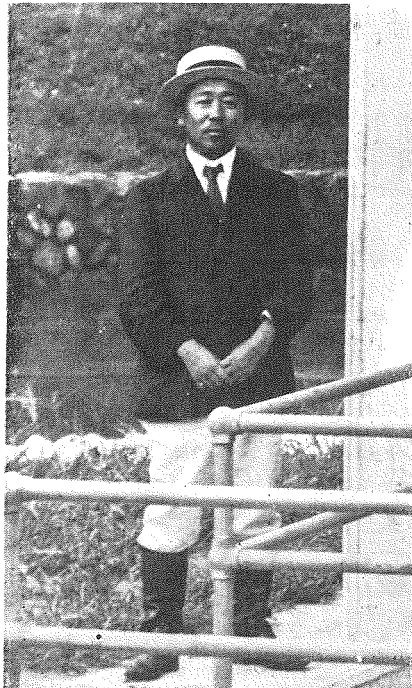


PHOTO
TIMES

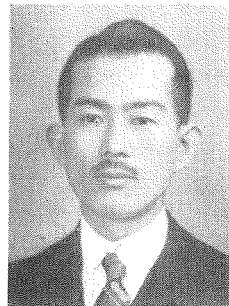


揖保川分流の可動橋 兵庫縣揖保郡大津村と網干港との揖保川分流に工事中だつた可動橋が竣功して、九月二十日開通しました。全徑間16米、幅員 3.5米で、可動徑間は7米です。可動橋の型式は鋼索形リンク式跳上橋、手動式で一人の夫夫が七分間に開閉することの出来る至極簡單なものです。此種可動橋の利甲は將來益々多いことと思はれます。總工費1圓5千圓、大阪の山本工務所が設計並に施工しました。寫眞はその可動橋です。

山口貯水池と菅原技師 東京市水道の山口貯水池の大堰堤が竣功して、いよいよ十月十五日から灌水を始めます。灌水するのは明年四月頃でせう。別項にもある如くこの工事は近來の模範的大土工で、來春パリに開かれる世界大堰堤會議に我國から



提出される論文の主題となつた研究工事です。工事は始終東京市技師菅原正志氏が牽領となつて合理的に施工されました。菅原氏は我國に於ける土堰堤のエキスパートで土に関する特志の研究家です。私どもは我國の工事界のために單に理論的ばかりでなく實際施工上にも菅原氏の如き技術家のより多く出られんことを切望してやみません (寫眞は菅原技師)



眞鍋武雄氏の光榮 ウォーセクリーター (本誌第七卷第一號參照)の發明者眞鍋武雄氏はこの程帝國發明協會から恩賜發明獎勵金の交付を受けました。これは民間の發明御獎勵の畏き思召しを以て先年御内帑金10萬圓を拜戴した帝國發明協會で、聖旨に副ひ奉るため本年度分1萬圓を國家的大發明を遂げた人々に對して交付すべく斯界の權威者によつて審査申だつたのですが、九月十四日その光榮に浴する人々(十六氏)が決定し十七日日本クラブで交付式が舉行されました。ウォーセクリーターは既に各地の現場に實用に供され非常な好成績をあげてゐますが、發明者としての眞鍋氏の苦心はこの無上の光榮によつて今や全く酬ひられたと信じます

× × ×